

## ヒトパピローマウイルス(以下 HPV)ワクチンについて

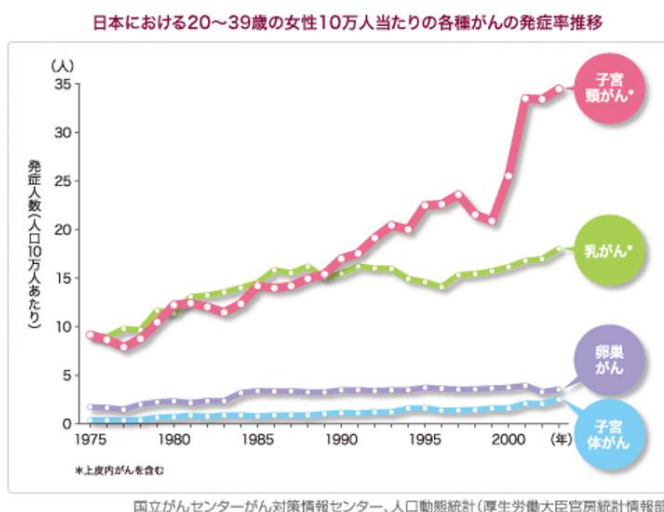
### 効果・意義

HPV ワクチンは HPV への感染を予防するためのワクチンです。HPV に感染すると一定の確率で子宮頸がんという癌を発症するといわれており、このワクチンは HPV への感染を予防することにより、結果的に子宮頸がんの発症を予防する効果(将来的にがん発生率を 70%低下させること)が期待されます

日本の状況:平成 25 年に定期接種化された際、その副反応が問題視され、数か月で推奨接種中止となりました

現在、定期接種の一つではあるものの、積極的な接種推奨はせず希望者のみの接種、となっています

世界の状況:2019 年 2 月現在、92 か国で実施されており、WHO より接種の推奨が勧告されています



### 主な副反応

他のワクチンと比較して接種部位の痛みが多いとされています

また重篤な副反応として機能性身体症状(頻度不明)が報告されています

機能性身体症状(複合性局所疼痛症候群):外傷等をきっかけに、広い範囲の痛みやしびれ、力が入らない、体をうまく動かせないなどの症状を認めるが、検査でも特に異常を認めない、原因不明のもの

(なお、各種調査研究において、現時点でワクチンと機能性身体症状の明らかな因果関係は証明されていません)

現在日本で認可されているワクチンは3種類あります

名称	サーバリックス	ガーダシル	新 シルガード9
ウイルスの種類	2価 (ハイリスク2種類)	4価 (ハイリスク2種類 +低リスク2種類)	9価 (ハイリスク7種類 +低リスク2種類)
効能・効果	以下の疾患の予防 ・子宮頸癌	以下の疾患を予防 ・子宮頸癌 ・尖圭コンジローマ等	以下の疾患を予防 ・子宮頸癌 ・尖圭コンジローマ等
接種回数	3回接種 初回、 <u>1ヶ月後</u> 、6ヶ月後	3回接種 初回、 <u>2ヶ月後</u> 、6ヶ月後	<u>2回</u> もしくは3回 詳細下記(注)

注:シルガード9の接種回数について

2回(対象:小学6年生~15歳未満) 初回、6ヶ月後以降

3回(対象:小学6年生以上の希望者) 初回、2ヶ月後、6ヶ月後以降

※なお、2回目を5か月以内に接種した場合、2回目から3か月以上あけて3回目の接種が必要になります

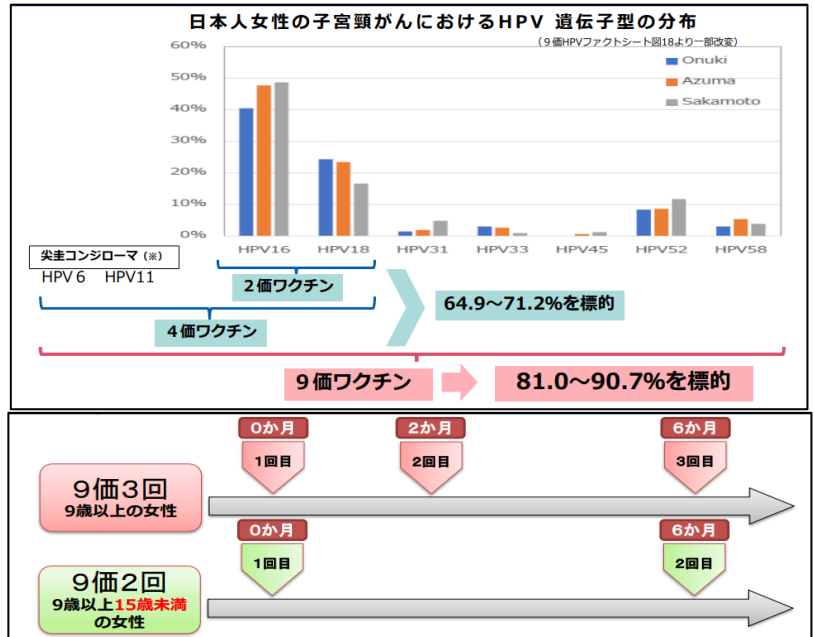
## 2023年4月追記

2023年4月～定期接種に**シルガード9**が追加されました

① これまでの2種類のワクチンよりも更に予防できるウイルスタイプが増えており、従来のもより予防効果が高くなっています（従来：60～70%、シルガード9：80～90%）

② 従来のもとは異なり、2回接種で完了可能になりました（対象は小学6年生～15歳未満）

また2回接種の対象者でも、希望者は従来同様の3回接種も可能です  
なお、いずれの場合でも初回から1年以内の接種完了が望ましいです



厚生労働省の資料より引用

### ※注意事項

- 1) 3回接種の場合、原則3回とも同じワクチン接種が望ましいです  
**変更をご希望の方：医師と御相談ください**
- 2) 既に従来型で3回接種完了している方のシルガード9の追加接種は推奨されていません

### 救済制度

副反応により医療費がかかった(検査や治療が必要になった)際、ワクチンとの因果関係が否定できない場合、救済制度が適応されます

HPV ワクチン種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関(まずは接種した病院へお問い合わせください)

京都：京都府立医科大学附属病院 産婦人科

大阪：大阪大学医学部附属病院 小児科 (15歳以下)、婦人科 (16歳以上)

## ロタウイルスワクチンについて

乳幼児においてロタウイルスは、胃腸炎の中で最も多いだけでなく、最も重症になりやすい事で知られています(日本の場合で約 10%が重症になります)。ロタウイルス胃腸炎は水のような下痢が何回も続き、それに嘔吐が伴います。体から水分と塩分が失われていき、脱水症をおこします。またロタウイルスは下痢だけでなく、脳炎や脳症を起こす事でも知られています。

現在、当院ではロタウイルス感染症を予防するワクチンとして、ロタリックスとロタテックの2種類を採用しています。

### ●『ロタリックス』 [1 価・2 回接種]

一番流行して重症化しやすい1種類のロタウイルスを弱毒化したワクチンです。交差免疫\*\*によってほかの種類のロタウイルスにも有効であることがわかっています。

4週間隔で2回接種します。遅くとも生後14週6日(生後3か月半過ぎ)までに1回目を受け、生後24週(168日)までに接種を完了します。生後24週以降は接種することができません。

\*\*交差免疫:ワクチンに含まれているウイルスに対する免疫を獲得することで、タイプの似ているほかのウイルスにも防御反応を示すこと

### ●『ロタテック』 [5 価・3 回接種]

流行して重症化しやすいウイルスを含む5種類のロタウイルスを弱毒化したワクチンです。4週間隔で3回接種します。遅くとも生後14週6日(生後3か月半過ぎ)までに1回目を受け、生後32週(224日)までに接種を完了します。生後32週以降は接種することができません。

ロタリックスは1種類の株に由来するので1価ワクチン、ロタテックは5種類のタンパクを組み込んだので5価ワクチンと言われています。5価の方が種類も多いので1価より優れているようにも思えますが、実際にロタウイルス胃腸炎に対する総合的な予防効果に大差は認められていないのが現状です。今後、ワクチン接種率が上がりロタウイルス胃腸炎の原因ウイルス株分布が変化してきた場合に効果に差がでてくる可能性は考えられませんが、どのようになるかは予想はできません。現時点ではどちらも優れた予防効果があるワクチンといえます。

### ワクチン料金

ロタリックス 1回 13000円 × 2回 = 26000円

ロタテック 1回 8100円 × 3回 = 24300円